



IMI ツール データ作成ガイド

1 はじめに

このガイドは、Microsoft Excel や CSV といった表形式データを、IMI ツールを用いて機械的に共通語彙基盤に対応したデータへ変換するための実践ガイドです。共通語彙基盤を用いたデータ作成に関する基礎的な情報は[共通語彙基盤を使う](#)のページをご覧ください。

2 事前準備

2.1 表形式データの準備

Microsoft Excel 等、表計算ソフトを用い、以下の点に気をつけながら表形式でデータを作成します。既存のデータを利用する場合は以下を参考に必要であれば調整を行います。

- ・ 1 行目は各列の値の見出し(データ項目名)行とします
- ・ 2 行目以降は 1 行に 1 レコードとしてデータを入力します
- ・ 行や列の結合はしません
- ・ 値がないセルは空白のままにしておきます
- ・ 複数シートを含むデータの場合、最初のシートのみ読み込み対象となります
- ・ マクロや関数を含むファイルは、期待通りに処理されない場合があります
- ・ Excel シートの書式が設定されているファイルは、期待通りに処理されない場合があります

図表 1 表形式データ作成例

管理番号	施設名称	種別	所在地	電話番号	URL
0	さくら保育園	認定 保育園	神奈川県横浜市 xx 区 xx 町 xxx	xxx-045-xxx-xxxxx	http://xxx.xxx.xxx
1	うめ保育園	認定 保育園	神奈川県横浜市 xx 区 xx 町 xxx	xxx-045-xxx-xxxxx	http://xxx.xxx.xxx
2	たんぽぽ保育園	認定 保育園	神奈川県横浜市 xx 区 xx 町 xxx	xxx-045-xxx-xxxxx	http://xxx.xxx.xxx

2.2 ツールの準備

作業するコンピューターのウェブブラウザで、[IMI ツール](#)へアクセスします。

2.3 DMD の準備

IMI 共通語彙基盤に対応した形にデータを変換するには、データの構造や値の制限、いわば、データの設計書である DMD (Data Model Description) が必要です。データ作成と併せて、目的にあう DMD を作成します。

DMD については[データモデル](#)の解説ページ、DMD の作成方法については[IMI ツール DMD 作成ガイド\(PDF\)](#)をそれぞれご覧下さい。DMD にはデータ作成の際の注意点などの説明が含まれている場合があります。表形式データを作成する際には DMD の定義や説明に従います。とくに、各データ項目の値の型（テキストや数値や日付などが指定されている場合があります）には、注意が必要です。

3 手順

- 3.1 DMD をアップロード
- 3.2 表形式データをアップロード
- 3.3 表形式データの項目名と DMD の項目名をマッピング
- 3.4 形式を選択して書き出し(DMD のダウンロード)

3.1 DMD をアップロード

[データ形式変換ツール](#)にアクセスし、データ作成に使用する DMD を「図表 2 DMD を選択」の赤枠内にドラッグ&ドロップしてアップロードします。

図表 2 DMD を選択

The screenshot shows the 'データ変換' (Data Conversion) page of the IMI tool. The navigation menu at the top includes 'DMD作成', 'DMD検証', 'データ変換', 'データ検証', 'コード/コードリスト', and '辞書'. The 'データ変換' section is active. A green button 'チュートリアルを見る' is visible. The 'DMD' section has three radio buttons: 'DMDをアップロード' (selected), 'DMDを検索', and 'URLを指定'. Below the radio buttons is a red-bordered box containing the text 'DMDをドラッグまたはクリックしてアップロード'. Below this is the '表形式データ' (Table Form Data) section with a green-bordered box for uploading table form data, a search input field, and a '検索' button. At the bottom is the 'マッピングファイル' (Mapping File) section with a green-bordered box for uploading a mapping file.

DMD の情報は「図表 3 DMD のプレビュー」のように画面上にプレビューされます。

図表 3 DMD のプレビュー



3.2 表形式データをアップロード

変換したい表形式データを「図表 4 表形式データをアップロード」の赤枠内にドラッグ&ドロップしてアップロードします。アップロード可能なフォーマットは.csv, .xls, .xlsx, .xslm です。

図表 4 表形式データをアップロード



表形式データは「図表 5 表形式データのプレビュー」のように画面上にプレビューされます。

図表 5 表形式データのプレビュー

表形式データ

表形式データをアップロード

URLを指定 検索

表形式データをドラッグまたはクリックしてアップロード

表形式データのプレビュー
見出し行指定 (1-3)

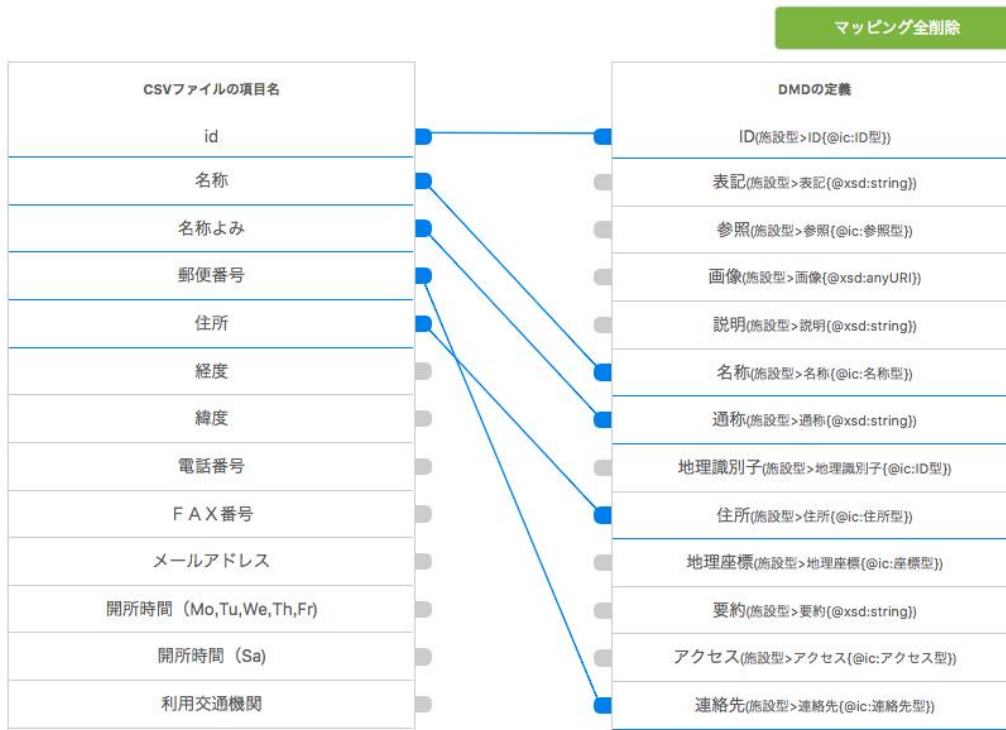
id	名称	名称よみ	郵便番号	住所	経度	緯度	電話番号	FAX番号	メールアドレス
N7001	会沢さくら保育園	かなざわさくらほいくえん	2360021	神奈川県横浜市中区羽根町一丁目21-1	139.62114	35.33939	045-781-9318		
N7002	藤利谷保育園	かまろりやほいくえん	2360042	神奈川県横浜市中区藤利谷第一丁目1-3	139.618256	35.340263	045-781-9040		

見出し行（項目名の存在する行）が一行目でないときには、見出し行の位置を指定します。

3.3 表形式データの項目名と DMD の項目名をマッピング

DMD と表形式データをアップロードすると、「図表 6 マッピング」のように画面上に両者の項目名をマッピングするインターフェースが表示されます。左辺に表形式データの項目名、右辺に DMD の項目名が一覧されます。変換したい表形式データの項目名が DMD のどの項目名に対応するか、それぞれをクリックしてつなぐことでマッピングを行ってください。

図表 6 マッピング



3.4 形式を選択して書き出し(DMD のダウンロード)

データ変換を行います。変換によって得られる構造化データにおいて、そのデータの BaseURI を指定するとデータの再利用性が上がります。もし、データの URI を設計できている場合には「図表 7 Base URI の指定」赤枠内に入力しましょう。省略した場合は `http://example.org` が設定されます。

図表 7 Base URI の指定

マッピングファイル ?

ファイルをドラッグまたはクリックしてアップロード

Base URI ?

指定できるデータ形式は「図表 8 変換後データ形式の指定」のように JSON-LD、Turtle、RDF/XML、XML です。JSON-LD、Turtle、RDF/XML は RDF の表現形式で、基本的に等価な情報を持ちます。

図表 8 変換後データ形式の指定

変換後データ形式 ?

JSON-LD
 Turtle
 RDF/XML
 XML

データの変換

データの変換を実行すると、「図表 9 ダウンロードされるファイル」のように「マッピングファイル」と「変換後のデータ」の 2 つのファイルがダウンロードされます。

図表 9 ダウンロードされるファイル



再度データ変換を行いたい時に、DMD と表形式データに加えて「マッピングファイル」の枠にマッピングファイルをアップロードすると、マッピングを復元することができます。